

平成29年度スポーツ庁委託事業  
地域における障害者スポーツ普及促進事業  
(地域における障害者のスポーツ参加促進に関する実践研究)  
委託事業成果報告書

石 川 県

## I 障害者スポーツ普及協議会

### ① 第1回普及協議会の開催（平成29年6月12日）

- 〈議題〉
- ・障害者スポーツ体験教室について
  - ・障害者スポーツ魅力発信事業について
- 年度内に実施する障害者スポーツフォーラムの概要を説明。

#### 〈主な意見〉

- ・障害者はスポーツに参加するにも、会場までの移動が大変な人が多いので、そのことを念頭に事業を実施することが重要。

### ② 第2回普及協議会の開催（平成29年12月4日）

- 〈議題〉
- ・障害者スポーツ体験教室に関する中間報告
  - ・障害者スポーツ魅力発信事業の開催報告
  - ・障害者スポーツ活動情報（リーフレット）について

#### 〈主な意見〉

- ・サッカー教室への参加を通じて、不登校や問題行動が改善した生徒もおり、サッカー教室は良い取り組みであると思う。
- ・サッカー協会では、体験教室への協力や協議会を通じ、ブラインドサッカー・電動車いすサッカー等障害者スポーツ団体等と繋がりができ、良かったと思っている。
- ・作成する障害者スポーツの活動状況リーフレットを活用し、障害者スポーツ団体活動や障害者スポーツ教室・大会等継続してスポーツに関われる場をしっかりと周知すべき。

### ③ 第3回普及協議会の開催（平成30年2月19日）

- 〈議題〉
- ・地域における障がい者スポーツの現状など  
（立命館大学産業社会学部教授 金山 千広氏）
  - ・障害者スポーツ魅力発信事業の結果報告
  - ・障害者スポーツ体験教室の結果報告

#### 〈主な意見〉

- ・障害者スポーツフォーラムをきっかけに、生徒が学校生活や部活動に一層意欲的に取り組むようになった。
- ・車椅子バスケットボールの体験教室を通じ、チームの参加者が増えた。

## II 障害者スポーツ体験教室

### 1 車椅子バスケットボール

#### (1) 開催日時等

##### <第1回>

- ① 日時：平成29年7月1日（土）13:30～15:30
- ② 場所：いしかわ総合スポーツセンターサブアリーナ
- ③ 参加人数：20人（聴覚に障害のある方など）
- ④ 連携組織及び指導者数等：

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 石川県障害者スポーツ協会                      | 3名 |
| 石川県車椅子バスケットボールクラブ Jamaney 石川      | 6名 |
| ※県下で唯一、車椅子バスケットボールクラブとして活動しているチーム |    |
| 富山県車椅子バスケットボールクラブ                 | 5名 |
| 石川県障がい者スポーツ指導者協議会                 | 1名 |
| 看護師                               | 1名 |
| 手話通訳                              | 2名 |

##### <第2回>

- ① 日時：平成29年9月23日（土）13:30～15:30
- ② 場所：小松サン・アビリティーズ
- ③ 参加人数：26人（身体に障害のある方など）
- ④ 連携組織及び指導者数等：

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 石川県障害者スポーツ協会                 | 1名 |
| 石川県車椅子バスケットボールクラブ Jamaney 石川 | 5名 |
| 看護師                          | 1名 |

##### <第3回>

- ① 日時：平成29年12月2日（土）13:30～15:30
- ② 場所：金沢市障害者高齢者体育館
- ③ 参加人数：29人（身体に障害のある方、軽度の子供など）
- ④ 連携組織及び指導者数等：

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 石川県障害者スポーツ協会                 | 1名 |
| 石川県車椅子バスケットボールクラブ Jamaney 石川 | 5名 |
| 富山県車椅子バスケットボールクラブ            | 5名 |
| 看護師                          | 1名 |

#### (2) 開催概要等

##### ①参加者の募集

主なターゲットとして車椅子を利用する方の参加を募るため、県から回復期のリハビリテーション患者が通院する病院に連絡し、通院患者への周知を依頼のうえ、開催案内チラシを送付した。

また、特別支援学校のほか、開催地（金沢市・小松市）及び、隣接する市町（加賀市）の教育委員会や体育協会に協力を依頼し、身体に障害がある児童が通学する全小中学校、障害者通所施設等に参加案内チラシを配布した。

##### ②教室内容

まず、Jamaney 石川から車椅子バスケットボールの特徴やルールについて説明をいただい

た。車椅子バスケットボール特有のルールとして、ダブルドリブルがないこと、また各選手には障害の程度に合わせて持ち点 1.0~4.5 点(0.5 点刻み)が付与され、チームの合計点がコート上の 5 人の選手について、14.0 点以内に収まらなくてはいけないこと、また、その他のルールについては、一般のバスケットボールと同様であることについて説明があった。その後、講師によるパスやシュートの実演があった。

次に、参加者が実際に競技用車いすに乗り、その操作の練習をした。操作に慣れるため、鬼ごっこを実施した。続いて、パスやシュートの体験を行った。参加者は座ったままの体制でシュートをしてもらうようにゴールに届かず、選手が正確にシュートを決める技術に驚いていた。未就学の児童の参加もしていたことから、軽いボールを使用したり、シュート練習の際にツインバスケットボール用のゴールを用いたりする等、楽しんで体験してもらえるような工夫もあった。その後、参加者に選手も交えてゲームを行った。第 1 回と第 3 回の体験教室では、富山と石川の車椅子バスケットボールチームによる試合のデモンストレーションを行い、参加者に激しい車いすのぶつかり合いや、トップスピードからのシュートなどを車いすバスケットボールの魅力が伝わるプレーを披露した。

最後に Jamaney 石川が毎週火・木・土に金沢市障害者高齢者体育館で練習を行っていることを紹介し、チームへの参加も呼びかけた後、閉会した。

### ③参加者からの主な意見・感想

#### <第 1 回>

- ・車椅子バスケットボールは、健常者が障害者と同じ条件で楽しめることから、障害への理解や意識啓発にも繋がると思う。(健常者も足切断も持ち点は同じ(4点))
- ・障害者だけでなく、看護大学等の健常者にも参加を呼びかけていけば、車椅子バスケットボールの競技団体に参加する者が増え、活性化するのではないかと。

#### <第 2 回>

- ・車椅子に乗りたがらなかった子どもが、乗ったら今度は降りたがらないほど楽しそうにしていたのが印象的だった。車椅子バスケットボールは、健常者も同じ条件で参加できるスポーツであり、健常者にも参加いただくことが、障害者スポーツの振興に繋がると思う。
- ・参加者の障害に応じた対応ができるよう、ボランティアを充実させたほうが良い。
- ・障害者スポーツのルールをもっと知りたい。

#### <第 3 回>

- ・今日は楽しそうに車椅子に乗ったり、ボールを触っていて、積極的に参加できている。講師も障害のある子どもへ指導することに慣れているようで、参加しやすかったようだ。
- ・ルール上、障害の種類によって参加できる競技とできない競技があり、自分にできる競技を探すのが大変である。
- ・団体競技は人数が集まらないとできないので、普段はする機会がない。

< 1回目 >



シュート練習



ゲーム体験

< 2回目 >



ルール説明



< 3回目 >



ゲーム体験



デモンストレーション

## 2 知的障害者サッカー

### (1) 開催日時等

#### <第1回>

- ① 日時：平成29年7月15日(土) 10:00～12:00
- ② 場所：いしかわ特別支援学校
- ③ 参加人数：42人(特別学級の児童や内部障害の児童なども参加)
- ④ 連携組織及び指導者数等：

|              |    |
|--------------|----|
| 石川県障害者スポーツ協会 | 3名 |
| 石川県サッカー協会    | 2名 |
| 特別支援学校教員     | 3名 |
| 看護師          | 1名 |

#### <第2回>

- ① 日時：平成29年9月9日(土) 10:00～13:00
- ② 場所：七尾特別支援学校
- ③ 参加人数：51人(特別学級の児童や放課後デイサービスの児童なども参加)
- ④ 連携組織及び指導者数等：

|              |    |
|--------------|----|
| 石川県障害者スポーツ協会 | 2名 |
| 石川県サッカー協会    | 3名 |
| スポーツ指導員      | 4名 |

#### <第3回>

- ② 日時：平成29年11月25日(日)10:00～16:00
- ② 場所：いしかわ特別支援学校、金沢市市民サッカー場
- ③ 参加人数：74人(特別学級の児童など)
- ④ 連携組織及び指導者数等：

|              |    |
|--------------|----|
| 石川県障害者スポーツ協会 | 1名 |
| 石川県サッカー協会    | 3名 |
| 看護師          | 1名 |

### (2) 開催概要等

#### ① 参加者の募集

主なターゲットとして若い方の参加を募るため、特別支援学校長会に協力を依頼のうえ、各特別支援学校に開催案内チラシを配布したほか、開催地(金沢市・七尾市)及び、隣接する市町(津幡町、中能登町)に協力を依頼し、障害のある児童・生徒が通学する全小中学校にも配布した。

結果、知的障害や聴覚に障害のある児童、放課後デイサービスに通所する児童、健常者スポーツの指導員、障害者スポーツに関心のある学生等が参加した。

#### ② 教室内容

始めに、コミュニケーションを取りやすい雰囲気をつくるため、参加者が他の参加者と名前を名乗って握手した後、皆で協力して新聞紙のボールを作った。

次に保護者も参加し、作ったボールを使って「手つなぎボール運び競争」や、自分の陣地に運んだボールの数を競うゲーム、相手の陣地にボールを蹴り合うゲームやシュート等を行った。ゲームを通じて楽しんでパスやドリブルの体験をできるメニューとなっていた。

最後に、学生や指導員等と手を繋いだままでミニゲームを行うなどによりサッカーを楽

しんだ。

保護者や大学生が参加し、参加者のプレーを拍手しながら褒めたり、応援したりしながら支援してくれたことにより、雰囲気も盛り上がった。

参加者募集の際に年齢制限をしていなかったこともあり、未就学の児童から壮年の参加者まで参加者の年齢層は幅広かったが、体格による差なども考慮し、年齢別にグループ分けも実施した。

第3回の体験教室では、上記の内容を実施した後、金沢市民サッカー場で福井県の特別支援学校との交流試合を行った。県外のチームとの対戦をすることで、サッカーへの興味関心がますます高まったものと思われる。

### ③ 参加者からの主な意見・感想

#### <1回目>

- ・休憩時間も子どもが走り回っており、こんな楽しそうな顔を見たことがない。ボランティアの大学生にも良くしていただいてすごく嬉しそうで、来て良かった。
- ・健常者のクラブは何処で受けて入れて貰えるか分からず、また入れたとしても他の子どもと同じように参加出来ないことから大変だと思う。今回の体験教室のように専門の知識を持った方や、障害者スポーツの勉強をしている学生が指導する、障害者を対象としたスポーツクラブが出来てくればいいと思う。
- ・障害者スポーツの情報がほとんど入ってこない。このような機会がもっとあれば参加したい。(県障害者スポーツ協会HP、県スポナビいしかわ及び、取りまとめてHPに掲載した障害者スポーツ活動情報を紹介)

#### <2回目>

- ・子どもが中学生になってから、スポーツや運動する機会がぐっと減ってしまい、良い機会だと思って参加したが、とても楽しそうにしていた。いろいろなスポーツに触れる機会が沢山出来るといいと思う。
- ・子ども達が真剣にスポーツを楽しんでおり、参加していて、私も楽しかった。(スポーツ指導員)
- ・普段、放課後デイサービスで行っている運動といえば、週に1回公園に行って、思い思いに走り回っている程度。なかなかこのような機会がないのでとても良いと思う(放課後デイサービス職員)

#### <3回目>

- ・子どもが前の日から、参加することを楽しみにしていた。来年度も引き続き実施してほしい。
- ・知的障害のある子どもを受け入れてくれるスポーツクラブ等がない。特に小学校低学年の障害児を受け入れてくれるところがない。
- ・今年度開催された3回の教室すべてに参加した。引き続き実施してほしい。

< 1 回目 >



シュート



手を繋いでのミニゲーム

< 2 回目 >



ドリブル練習



ボール運びゲーム

< 3 回目 >



ボール運びゲーム



ミニゲーム

### 3 グランドソフトボール

#### (1) 開催日時等

- ① 日時：平成 29 年 9 月 10 日（日）10:00～13:00
- ② 場所：金沢商業高等学校
- ③ 参加人数：55 人（盲学校以外の特別支援学校に通学する弱視の生徒等）
- ④ 連携組織及び指導者数等：  
石川県障害者スポーツ協会 2 名  
（社福）石川県視覚障害者協会グランドソフトボールクラブ等 11 名

#### (2) 開催概要等

##### ① 参加者の募集

視覚に障害のある方の参加を広く募るため、視覚障害者協会に協力を依頼し、協会会員に開催案内チラシを送付したほか、盲学校に依頼し、生徒等への参加を呼びかけた。

結果、視覚の障害のある方を始め、盲学校生徒や教師、特別支援学校の弱視の生徒、障害者スポーツに関心のある学生等 55 名の参加があった。

##### ② 教室内容

始めに、グランドソフトボールクラブ審判員から、競技やルール当日の進行などについて説明を行った後、参加者を 3 班に分け、グラウンドの 3 カ所で打撃・捕球・走塁体験を、アイマスクを着用して行った。

打撃・捕球・走塁体験を一巡した後は、体験参加者でチームになり、グランドソフトボールクラブと実際に試合を行い、競技を楽しんだ。

その後富山県チームと石川のチームが試合のデモンストレーションを行い、参加者に全盲選手の素早い動きでの捕球や、力強いバッティング等生き生きとしたプレーを披露した。



ルール説明



捕球体験



打撃体験



参加者・チームの混合試合

### (3) 参加者等からの主な意見・感想

- ・盲学校を卒業して、久しぶりにグラウンドソフトに参加したが楽しくて、また参加したくなった。
- ・子どもに何かスポーツをさせたくて、色々な体験会に参加している。今回は少し難しかったようだが、このような機会がなければ体験できないので良いことだと思う。今度はブラインドサッカーを体験してみたい。

## 4 参加者からの意見・感想のまとめ及び実施所感

### (1) 意見・感想のまとめ

- ・健常者にも参加してもらうことが障害者スポーツの振興に繋がる。
- ・自分の障害にあった競技を探すことが難しい。
- ・団体競技は人数を集めなければならない。
- ・障害者を受入れてくれるクラブがない。
- ・障害や障害者スポーツに関する専門知識がある人がいれば、安心して参加できる。
- ・障害者スポーツに関する情報がほとんど得られない。
- ・放課後等デイサービスでは、必ずしもスポーツらしいスポーツができるわけではないので、良い機会になった。
- ・特別支援学校を卒業後、久しぶりにグラウンドソフトボールをして楽しかった。
- ・子どもにスポーツをさせたくて、色々な体験会に参加している。

### (2) 実施所感

- ・遠方からの参加が難しいという声や移動に支援を要する参加者に配慮し、今年度は参加者が集まりやすい会場で体験教室を実施することとした。車椅子バスケットボールは小松市で、知的障害者サッカーについては七尾市でそれぞれ第2回教室を実施した。また、グラウンドソフトボールについても、視覚障害のある方が比較的来場しやすい、盲学校に隣接する県立高等学校を会場とした。各会場において、その地域の障害者の参加が多くあったことから、対象者が来場しやすい場所に出向き、気軽に体験教室に参加できるようにすることが重要であると思われる。

- ・車椅子バスケットボールとグランドソフトボールについては、他県チームの協力により、体験教室時に県内チームとの試合のデモンストレーションを実施した。参加者からは、良い機会になったとの意見もあり、障害者スポーツへの関心がより高まったものと思われる。
- ・参加者からは、「楽しかった」「引き続き開催してほしい」など肯定的な意見が多く寄せられた。
- ・障害の有無や種別・程度、また年齢等によって体験できる内容が異なってくる場合がある(例：知的障害者サッカー教室の場合…指導者の指示によりパスやシュートができる参加者もいれば、指示が理解できず、手取り足取り細やかな支援を要する参加者もいる。試合形式の体験についてもルールを理解できる方とそうでない方がいる)。そのため、個別に対応しなければならないケースも少なくなく、指導者やボランティアの数を確保する必要がある。

## 5 今後の方針

各地域で実施したスポーツ体験教室は、多くの方々の参加があり好評であったことから、今後も継続して開催していきたい。

開催にあたっては、体験教室を通じて関心を持った参加者の受け皿となっただけのよう、講師役として県内の障害者スポーツ団体やクラブにも協力をいただくこととする。

平成30年度以降もより多くの障害者にスポーツに親しむ機会を提供できるように、本事業で実施したスポーツ体験教室の実施はもとより、障害者スポーツの楽しさや魅力を伝えるためのフォーラムや障害者スポーツ大会の開催、障害者スポーツ指導員の養成などに継続的に取り組んでいきたい。